

# 会 議 録

日 時	平成 28 年 7 月 19 日 (火)	
場 所	阿波連生活館	
議 題	第一回ガイドブック制作委員会 15:30 の回	
<p>(1) 調査業務とガイドブック制作業務の関連性について 質問：今回並行して行う、1年間の調査結果を反映してガイドブックを制作するのか？ 回答：今期制作するガイドブックについては、今年度の調査結果は反映しません。</p> <p>(2) オフシーズンの誘客について ・事業者によっては、夏はこれ以上来られてもこなせるかどうか分からない。冬はスタッフがいらない。 ・冬場は天気も悪いし、楽しんでもらえるコンテンツがあるのか疑問に思う。 ・海を目的に来ている客がほとんどなのに、四季折々を観光客にアピールするべきか疑問が残る。 ・年間を通してお客さんがくることは理想だが、それと、実際お客さんが魅力的に感じるかは別問題。 ・今、すでに来ている人に向けてのものを作るべき。 ・修学旅行では、秋冬対策として受け入れを開始したが、9月10月の誘客に成果を上げている。 ・1月・2月は観光客が本島にもたくさん来ているので、渡嘉敷にも足を伸ばして来てくれるのでは？ ・海と山をセットにしてみると、冬場も楽しんでもらえるメニューが作れる。 ・レンタカーも豊富だし、散策コースとかオプションツアーを作るべき。 ・生物・植物に詳しいガイド等を配備して、海と山を歩こうツアー等を提案できるのでは。 ・人材が一番大事（ガイド育成が必要？）</p> <p>(3) ガイドブックに乗せるべき内容について ・基本情報を充実させる、基本情報を冒頭で説明した方がいい。 ・船の運航状況はどのくらい前に調べるべきか、等も情報として載せるべき。 ・秋冬用にメニューを無理くりを作るのではなく、秋冬受け入れ可能になった時にPRをしたほうがいい。 ・MAPは重要。 ・普段、食べ物の情報は最初に伝えている。 ・宿については、そもそも予約してくるものだから、あまり質問は受けない。 ・バナナボートはいつやっているのか等、いつ、なにができるのかを、明確に掲載した方がいい。 ・コンビニがないことも事前に理解して来て欲しい。 ・お客さんに聞かれることをヒントに掲載内容を考える。今お客さんによく聞かれることは？ ATMはどこにあるのですか？ 商店はどこにあるのですか？ トイレはどこにあるのですか？</p> <p>(4) 外国人観光客対応について ・中国人のお客さんが多くて、ストレスが多い。事業者によっては中国人を断っているところもある。 ・多言語対応に課題がある。</p> <p>(5) 現状の課題について ・予約するときにたらいまわしになることも課題感があるので、観光協会等、窓口が管理するべきだが、商工会では調整をできないか？ ・民宿や、宿泊所でも、毎年提供できるものが変わる。いつも変わらずに提供できるものを載せる必要がある。</p> <p>(6) 島内のWi-Fi環境について ・インフラの状況を少しでも早く改善してほしい ・インターネットが使えないのは課題。特に阿波連地区の接続状況が悪く、すぐに使用できなくなる。 19時～20時はなにをしてもネットがダウンする状態（阿波連側）</p>		